

三重のもりづくりについての基本的な計画（三重の森林づくり基本計画）に記載された施策の実施状況について、「三重の森林づくり条例」第11条第6項の規定に基づき、毎年1回、県議会に報告するとともに、公表するものです。

## 基本方針1 森林の多面的機能の発揮

森林は、県土の保全、水源のかん養、自然環境の保全、林産物の供給等の多面的機能を有し、適正な管理を行うことで、これらの機能を複合的に発揮させることができます。  
このため、森林に求められる機能や地形条件等に応じた適切な森林管理を推進するとともに、森林づくりを支える森林情報の的確な把握や、森林の公的管理を進め、将来にわたる森林の多面的機能の持続的な発揮をめざします。

指標	目標 (R1)	実績 (R1)	目標 (R10)
公益的機能増進森林整備面積 (累計)	1,700ha	1,552ha	30,300ha
山地災害危険地区整備着手地区数 (累計)	2,179地区	2,187地区	2,359地区
新植地の被害率 (獣害)	—	2.9%	0%
森林境界明確化面積 (累計)	26,000ha	27,050ha	60,000ha

### 基本施策1-(1)「構造の豊かな森林」づくり

・森林の多面的機能を高度に発揮し、持続可能な森林づくりを行うため、森林ゾーニングに応じた適切な森林整備を進めるとともに、林業研究所において少花粉スギの種子を採取し、県内の苗木生産者に供給しました。

### 基本施策1-(2)県民の命と暮らしを守る森林づくり

・山地災害が発生した地域等において、山腹崩壊地や荒廃溪流の復旧整備等に取り組むとともに、機能が低下した保安林の健全な成長を促進させるための調整伐等を実施しました。  
・災害に強い森林づくりを進めるため、流木となる恐れのある危険木や人家裏・通学路沿いの危険木の除去、流域の防災機能の強化を図るための調整伐等を実施しました。

### 基本施策1-(3)森林づくりを推進する体制の強化

・森林経営管理制度に基づき、市町が行う森林整備事業の推進を支援するため、みえ森林経営管理支援センターに森林整備に必要な知識と技術を備えたアドバイザーを配置して、市町担当者向けの研修会の開催や相談対応、巡回指導などを行いました。



里山の森林安全安心対策事業 (松阪市)

## 基本方針2 林業の持続的発展

豊富な森林資源を活用し、活発な木材生産活動を通じて、森林所有者の所得向上や中山間地域の活性化、低炭素社会づくりに貢献するとともに、森林の公益的機能を高度に発揮させていくため、森林施業の効率化や林業・木材産業の競争力強化、森林・林業や地域を担う人づくり、県産材の利用促進など林業の持続的な発展を図ります。

指標	目標 (R1)	実績 (R1)	目標 (R10)
県産材素材生産量	398千m <sup>3</sup>	406千m <sup>3</sup>	430千m <sup>3</sup>
林業人材育成人数 (累計)	60人	88人	645人
製材・合板需要の県産材率	47.0%	47.0%	60.0%

### 基本施策2-(1)林業及び木材産業等の振興

・林業経営の集積・集約化の受け皿として、15事業者を意欲と能力のある林業経営者に選定・公表し、県内の24市町において経営管理実施権の設定が可能になりました。  
・林業のスマート化の実現に向けて、津市、伊賀市、名張市地内において、398.2km<sup>2</sup>の航空レーザ計測及び森林資源解析を実施したほか、大台町及び尾鷲市、紀北町地内において244.9km<sup>2</sup>の航空レーザ計測を実施しました。

### 基本施策2-(2)森林・林業・木材産業や地域を担う人づくり

・みえ森林・林業アカデミーの基本3コースにおいて、受講生30名が森林・林業・木材産業の先進事例をはじめ、経営や安全、環境、地域経済の活性化等の幅広い分野について学ぶなど、地域を担う多様な人づくりに取り組みました。

### 基本施策2-(3)県産材の利用の促進

・中大規模建築物や非住宅建築物における木造・木質化の相談や提案ができる建築士を養成するため、中大規模の木造設計に必要な知識・技術を習得するための講座を開催し、一級建築士11名が講座を修了しました。



三重県中大規模木造建築設計セミナー

## 基本方針3 森林文化及び森林環境教育の振興

森林は継承されるべき郷土の歴史的、文化的な財産であり、自然環境を理解するための教育及び学習の場でもあることから、森林の保全及び活用、学習機会の提供や環境の整備により、森林文化及び森林環境教育の振興を図ります。

指標	目標 (R1)	実績 (R1)	目標 (R10)
森林文化・自然体験施設等の利用者数	1,488千人	1,533千人	1,613千人
森林環境教育支援市町数	11市町	12市町	29市町
地域に密着した森林環境教育・木育指導者数	120人・団体	127人・団体	300人・団体

### 基本施策3-(1)森林文化の振興

・森林や木に親しみ、その大切さを知っていただくため「みえの森フォトコンテスト」を開催し、優秀作品を公共施設やショッピングセンターなどで展示しました。  
・暮らしに身近な森林づくりを進めるため、みえ森と緑の県民税市町交付金を活用して、桑名市など、5市町で里山や竹林の整備が行われました。

### 基本施策3-(2)森林環境教育・木育の振興

・津市白山町の林業研究所内に設置した「みえ森づくりサポートセンター」において、森林環境教育・木育や森林づくり活動に関する相談対応や活動のコーディネート、出前授業、指導者の育成などを実施しました。  
・三重県民の森及び上野森林公園において、ボランティア団体の協力を得ながら園内の森林の手入れなどを進めるとともに、自然観察会を270回開催しました。  
・市町においても、みえ森と緑の県民税市町交付金を活用して、13市町が教育施設に木製備品を導入したほか、小学生や住民を対象として、森林・林業について学習や体験ができる取組が実施されました。



みえの森フォトコンテスト



森林環境教育事業 (津市)

## 基本方針4 森林づくりへの県民参画の推進

森林の恩恵は広く県民の皆さん誰もが享受するものであり、森林は県民の財産であるとの認識のもと、森林づくりや木づかいを通じて、森林を社会全体で支える環境づくりを進め、県民参画の推進を図ります。

指標	目標 (R1)	実績 (R1)	目標 (R10)
森林づくり活動への参加団体数	115団体	116団体	124団体
新たに木づかいに取り組む民間事業者等の数 (累計)	8者	10者	80者
三重の森林づくりへの関心度	32.0%	64.1%	50.0%

### 基本施策4-(1)県民、NPO、企業等の森林づくり活動の促進

・森林づくりを社会全体で支えていくため、新たに御浜町と紀宝町において2件の「企業の森」の協定が締結され、企業による森林整備が進められています。

### 基本施策4-(2)木づかいの促進

・県民の皆さんに木にふれていただく機会を創出するため、県内で製作されている木製玩具を「ミエトイ」と位置づけており、これらを体験できる場として、県内のイベントなどに出席する「ミエトイ・キャラバン」を20回開催しました。  
・民間事業者による自発的な木づかいの取組を推進するため、県産材を積極的かつ計画的に使用することを宣言した事業者を登録する「木づかい宣言」事業者登録制度を推進し、新たに9事業者を登録しました。

### 基本施策4-(3)三重のもりづくりの意識の醸成

・森林づくりや木づかいの意義を県民で共有し、意識を醸成するための取組を三重のもりづくり月間（毎年10月）を中心に進めており、令和元年度は、紀北町と連携して「海と山と人をつなぐ植樹祭 ～尾鷲ヒノキの森をつくろう～」を開催しました。



ミエトイキャラバン



海と山と人をつなぐ植樹祭